

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY



平成25年9月9日(月)～9月15日(日)〔平成25年第37週〕の感染症発生状況

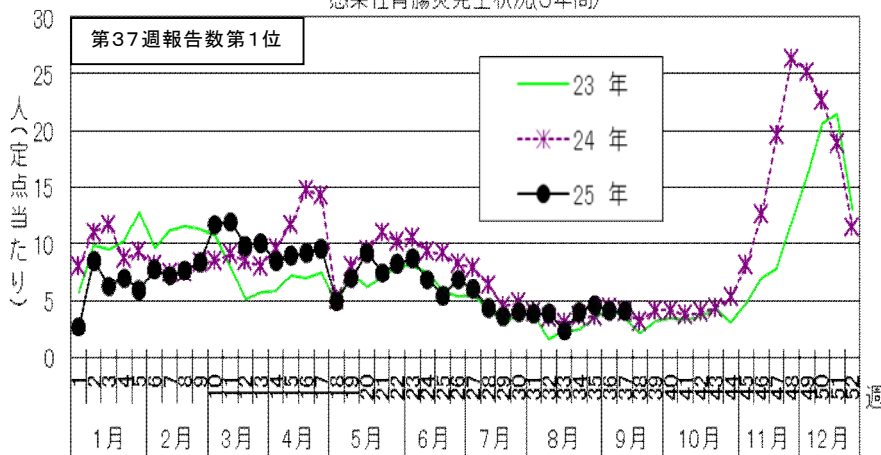
第37週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)手足口病 3)ヘルパンギーナ でした。

感染性胃腸炎は定点当たり4.09人と前週(4.12)より患者報告数はわずかに減少し、例年並みのレベルで推移しています。

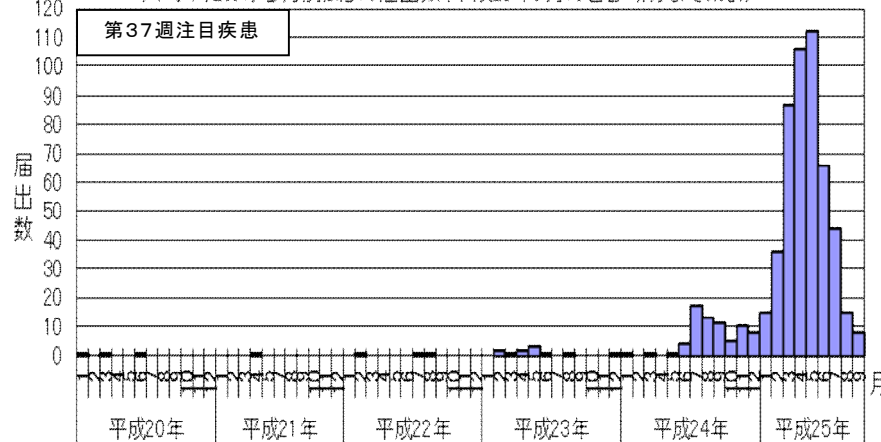
手足口病は定点当たり2.27人と前週(3.30)より報告数はわずかに減少しましたが、例年よりやや高いレベルで推移しています。

ヘルパンギーナは定点当たり1.42人と前週(1.61)より報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年9月15日診断分まで集計)



長引くかぜ？ 結核かも！ 結核予防週間9月24日～9月30日

日本は結核の「中まん延国」と言われています。高齢者に多い病気ですが、若い世代の集団感染も問題になっており、結核は依然として重大な感染症です。正しい知識を身につけ、感染を防ぎましょう。

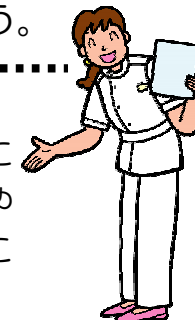
平成23年は国内で22,681人の新規結核患者が登録され、2,166人が死亡しました。患者は都市部に多く、市内では特に川崎区における罹患率が高くなっています。

結核とは・・・？

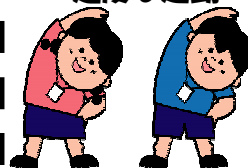
結核は、結核菌によって主に肺に炎症が起こる病気で、咳やくしゃみから空気感染をおこします。

初期症状はかぜと似ていますが、長引く咳、痰や微熱などが特徴です。かぜのような症状が長く続くようなら、医療機関を受診しましょう。結核のまん延を防ぐためにも、早期発見、早期治療が重要です。

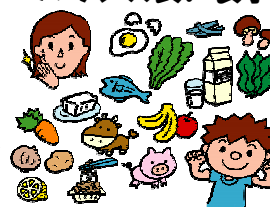
また、小児における結核の予防にはBCG接種が有効で、おすすめの接種時期は生後5～8か月の間です。



適度な運動



バランス良い食事



十分な睡眠

